

ご協力ありがとうございます！

【7月の寄付品】 小野泰司、Heliosz 株式会社、ハートフィールドさかもと、中村幸子
新藤徳博、加治屋若子、松木秀士郎、樋口知佐子、三宅正風、谷岡源信、三好不動産
福岡リパティライオンズクラブ、馬場雄二、丸善自動車

【7月の新入会】 株式会社 AIKI、林 大祐

体験農園だより

7月上旬にネギの植え付けを行い、春夏作前期の作物はすべて植え終わりました。今年度は大雨に見舞われましたが、たくさんのキュウリとおいしいスイカができました。昨年は乾燥による病害のためキュウリもスイカもほとんど収穫ができませんでした。念願のおいしいキュウリとスイカに参加者の方々にも喜んでいただけました。一方でトウモロコシが収穫できなかつたり、なかなか草刈りを行えなかつたりと、残念な部分もありました。来年も改善に努めたいと思います。(飯川)

日本語のようす

各クラス週 1 回午後の時間、日本語の勉強を続けていますが、7月は交流行事やイベントも多く、日本語の時間がとれないこともありました。宿題の提出も少し滞っていて、読み書きの勉強はあまりできていませんが、農業実習や交流行事をとおして、聴解力と会話力はめきめきと上達しています。地域の人と日本語で交流している姿を見られることがとても嬉しいです。11月には毎年行われている日本語スピーチコンテストが大野城市で行われます。今年は立候補者が6名います。どんなスピーチを書けるか楽しみです。この夏は猛暑日が続いていますが、朝晩涼しくなるころには、日本語能力試験に向けての勉強に集中できるようにしていきます。がんばれ、研修生！(立石考子)



7月2日にN5を受験しました！

農場の研修風景 7月10日(月)、九州北部を襲った記録的豪雨が、オイスカ西日本研修センターのある脇山地区を襲いました。報道では、佐賀県の唐津市や福岡県の久留米市などで大きな被害が出て、大変な状況がテレビに映し出されていましたが、西日本センターのある脇山地区も10日の未明から朝にかけてものすごい量の雨が降り、センターの研修農場の一部も近くの川が氾濫し、3カ所の畑で収穫間近のスイカやカボチャに被害が出ました。雨が落ち着いた後に農場に行ったら、川から流れた瓦礫や倒木があちこちに散乱し、川の近くのスイカもあちこちに流されていました。せっかく研修生が一生懸命に育てた作物が、このような形で被害を受けるのは本当に残念なことですが、気持ちを切り替えて被害のなかった畑での収穫作業をみんなで頑張っています。(豊田)



8月の予定

- 4日 そば打ち体験
フィジーツアー(9日まで)
- 7日 奈多小学校 積み木広場
OB 研修生リ一帰国
- 11日 ホームステイ(14日まで)
- 17日 アトリエ木下写真展
- 19日 生松台ふれあい市
- 21日 青葉小学校 積み木広場
カンボジアツアー(26日まで)
- 22日 アトリエ木下 100周年記念式典
- 26日 脇山はぐくむ会



ライオン福岡オフィスより寄贈

この2年余り、ライオン福岡オフィスより総務室長の岡田様はじめ数名の社員の方が、毎週土曜日に西日本センターでボランティア活動に参加頂いております。今回、ライオン様より「研修生の生活補助になれば」と、洗濯洗剤他たくさんの寄贈を頂きました。特に夏場は毎日の研修で汗びっしょりになり、研修生も毎日洗濯をしています。研修生にとってありがたい品を頂き大喜びです。ライオン様には毎週のお手伝い及び生活必需品の寄贈、本当に感謝致します。今後もボランティアのみならず、研修生との交流も深めて、いつの日か彼らの国に訪問していただきたいです。今後ともよろしくお願いいたします。



まるごと!西日本



@OISCA_NTC

Instagram



facebook

発行:(公財)オイスカ西日本研修センター まるごと部
福岡市早良区小笠木 678-1
TEL(092)803-0311 FAX(092)803-0322
E-mail: oiscantc@oisca.org 検索 **オイスカ西日本**

2023年 8月号

日頃の様子を更新中!是非チェックお願いします!



オイスカ西日本支部幹事会開催

7月19日、4年振りの対面での幹事会を九州電力(株)本社会議室にて開催しました。新型コロナウイルスの影響で、オンラインでの開催となった3年間でしたが、幹事の皆様35名及び顧問の福岡県知事(代理)、福岡市長(代理)にもご出席頂き、令和4年度事業報告・収支報告、また、令和5年度の事業計画(案)・収支予算(案)をご審議頂きました。西日本支部の瓜生会長からもオイスカ活動を継続、発展させるために会員増強、技能実習拡充を含め多くのご意見を頂き、無事審議可決頂きました。令和5年度の研修生も会の初めにご紹介させていただき、研修生にも多くの皆様の思いが伝わったと思います。今年度も皆で力を合わせて研修生の育成、国際交流等に邁進していきます。今後とも応援よろしくお願いいたします。(廣瀬)

福岡県庁 オイスカパネル展&農産物販売会

毎年恒例となりました福岡県庁ロビーでのオイスカ紹介パネル展(7月11日~14日)及びオイスカの研修農場で採れた新鮮な農産物販売(13日~14日)を行いました。

パネル展ではオイスカの紹介及び研修の内容、また、7年前に放映された「Youは何しに日本へ?」を放映し、多くの方に見てもらいました。農産物販売では、県庁の職員の方のみならず、来庁された一般の方も立ち寄りいただき、大盛況の販売会となりました。年2回の販売会ですが、次回は11月ごろを予定しています。皆様のお越しをお待ちしております。ご協力いただきました県庁の皆様、ありがとうございました。(廣瀬)



福岡市役所 農産物販売会 7月4日に福岡市役所で農産物の販売をさせていただきました。市役所での販売は今回が初めてで、お客さんが来るかどうか心配でしたが、思いのほか通りすがりの人も買ってくださいました。また市役所の職員の方々がお昼休憩の時間に、インド研修生のドウリシャさんが館内放送で農産物販売の案内をしました。その後お客さんがたくさん来て大行列になりました。研修生達による元気な掛け声とセールストークで持ってきていた野菜、ジャム、インドネシア産のコーヒーなど全て売り切れとなりました!また秋冬野菜が採れる頃に第2回目の販売会を行う予定となっておりますので、ぜひお越しください!(園田)



早良高校生農業ボランティア参加 7月10~11日の2日間にわたって、センターの隣にある早良高校の学生に農業ボランティアに参加していただく予定でした。しかし、1日目となる7月10日がちょうど豪雨災害で学校も休校となり、翌日の11日のみ12名の参加者でキュウリの畑で管理作業を行い、その後ブルーベリー畑で収穫体験をしてもらいました。コロナ禍の期間中には大勢の学生が農業ボランティアに参加していただき、本当に助かりましたが、今後も農作業を通して多くの学生と交流を深めることが出来ればと思います。(豊田)



山笠見学

7月12日(水)、福岡リバティライオンズクラブのご招待で博多祇園山笠追い山ならしの見学をさせていただきました。櫛田神社境内棧敷席より勇壮に櫛田神社入りする各山笠をまじかで見学でき、迫力ある雰囲気や圧倒され思わず歓声もあがり、カメラに収めるなどして楽しく見学しました。今年は福岡リバティライオンズクラブ結成40周年で、これまでのご支援に感謝するとともに、毎年ご招待をいただきありがとうございます。(満川)



ライオンズ合同地引網参加 7月22日(土)、ライオンズクラブ4R1ゾーン合同地引網が糸島市の深江海水浴場で行われ海外の研修生を招待していただきました。海に張られた網の二本のロープをみんなで丘に引っ張り上げ、網に入ったイキのいい魚を取り出す作業をしました。終了後は海の家で昼食 BBQ 交流会に参加をさせていただき、海外の研修生による踊りの披露や、最後は海に入り海水浴をしてリフレッシュさせていただきました。研修生はライオンズクラブの皆様と親睦も深めさせていただき貴重な体験になり、特に海に面していない国の研修生たちにとっては生涯忘れることのない思い出になったと思います。またお土産のお魚もたくさんいただき毎日おいしく食べさせていただいています。福岡リバティライオンズクラブの皆様ご招待ありがとうございました。(満川)



網を引く研修生



上がった魚を手取る研修生



ダンスの披露

こらぼらきゅうでん米作りプロジェクト「田んぼの草取りと収穫体験」を開催

7月15日(土)、九州電力主催のこらぼらきゅうでん米作りイベントが開催され、今回はボランティア含めて80名以上が参加して、5月末に植えた田んぼでの草取りと散策、その後近くの畑へ移動してピーマンやオクラなどの収穫体験を実施しました。

時期的に梅雨の末期ということで天候が不安定なこともあり、田んぼへ移動した直後に大雨が降るハプニングもありましたが、短時間で雨もやんで、大きくなった稲を見ながら田んぼの中を散策し、草が生えているところを見つけては除草作業を行いました。その後、歩いて近くの畑へ移動して、何種類かの野菜を収穫し、収穫した後はオイスカのスイカを思う存分食べていただきました。参加者の皆さんもいろいろな体験が出来て大満足の様子でした。(豊田)



サンリブより寄付金贈呈

7月20日、会員企業の株式会社サンリブ様より大分県、熊本県、宮崎県内店舗のトレー店頭回収リサイクルに伴う再生トレーの原料の有価物売却益一部75,170円を西日本研修センターへご寄付いただきました。サンリブマルショクグループは福岡県を中心に119店を展開し、現在レジ袋にオイスカ支援の文言を入れて頂いており、昨年9月にオープンしたサンリブ BUONO 原店にはオイスカの農産物コーナーも設けて頂くなど、各方面からオイスカにご協力をいただいています。この度のご支援誠にありがとうございました。(満川)



寄付金目録贈呈
右側 サンリブ
中澤人事総務部課長



会員さまご紹介 オイスカ佐賀県推進協議会 会長 岩尾 雄四郎 様

私がオイスカの会員になったのは、かれこれ30年程前であったように思う。家内が既に会員であり、誘われて入会した。当時はオイスカの下部組織である(社)オイスカ佐賀県支部の名称で活動していたように思う。事務局は商工会館の地下にあり、行事の度に立ち寄っていた。佐賀県支部には女性会員だけで構成するコスモスの会があり、タイのコットン衣料を買い付け、日本で販売して得られる収益金をタイの保育園建設や教具充実などに充てていた。彼女たちは毎年、植林活動と衣料買い付けに出かけていた。

当時私は佐賀大学で地質学を基礎にした研究をしており、地質見学を兼ねて植林活動には計7~8回は参加した。タイ、ミャンマー、フィジー、フィリピン等を訪問したが、何れの地も地質、気候風土や文化が異なり、印象深かった。ある時、学術調査でネパールを訪問するチャンスがあり、今は無きオイスカのネパール支局を訪ねた。現地支局長と環境問題で意見交換し、寺院等を案内して頂いた。

お盆やお正月に研修生を家庭で受け入れる企画があり、何人も我が家にホームステイして頂いたが、その中にタイからのアルーン君が居た。帰国後もオイスカの仕事に携わっていた彼から自宅に電話が入った。若いとは必ずしも言えない彼が、「結婚するから夫婦で来て！」との誘いである。快く引き受け、タイ式結婚式に夫婦で参列した。婚礼は家で赤い糸を結びあわせる儀式が自宅で行われ、その後に親戚縁者の宴会、地域の人々との宴会が続いた。

ミャンマーには2度赴いた。広大な平野を悠々と流れるエーヤワディー川に堤防は無く、周辺の農地は乾燥していた。幅狭い顔と垂れ下がった耳、背中にコブのあるコブ牛は耐暑性と害虫への抵抗性が強いらしく、各所で草を食べていた。バコックの研修所では、朝には鶏が時を告げ、70年前の日本の農村を思い出した。

私が入会した頃に比し、会員は齢を重ね、コスモスの会も今は無い。若い方が入会してくれるような企画をオイスカとともに編み出したい、若者の目線を追っている。



OB・OG の紹介

今回紹介するOG研修生は、パプアニューギニアのヘンリカさんです。ヘンリカさんは2007年の研修生で、3年前の研修生マックスさんのお姉さんです。OB研修生として四国研修センターに再研修にも来ています。ヘンリカさんは今何をしていますのでしょうか。



◆国に帰ってから今まで何をしていましたか？ 私は国に帰ってから最初の担当はオイスカラバウル研修センターの食堂で研修生やスタッフに食事を作っていました。時々農業も教え、それと、地域開発のコースで食品加工や石鹸づくりを教えました。でも今は研修生がいないので、自分の畑でいろいろな野菜を作っています。時々荏原先生について、コスモのプロジェクトで地域開発のコースを教えています。

◆日本での思い出(印象)は何ですか？ 日本の国はとてもきれいで、技術が高いです。日本人は親切です。農業も機械化され簡単で便利です。食べ物もおいしくてヘルシーですね。いつもお風呂に入ってきてきれいです。

◆日本の料理で好きな食べ物は？ たくさんあります。すき焼き、みそ汁、しゃぶしゃぶ、ラーメン、おにぎり、うどん、そしてお菓子です。

◆これからのプランはありますか？ もし、オイスカラバウル研修センターに研修生が来なかったら、他の仕事を探してお金をためて、自分の故郷で農業をします。

◆オイスカメンバー、スタッフへのコメント 親切なオイスカ会員の皆様の支援がなければ、私は日本で勉強することはできませんでした。私は今、オイスカラバウルセンターで毎日日本の国旗を掲げています。なぜなら、私は日本でのいろいろな経験のおかげで、大きく成長することが出来たからです。オイスカ会員の皆様のサポート、先生方のあたたかい指導に感謝しています。

第 19 回オイスカ「集まれ！地球体験村」

7月27日(木)～29日(土)に第19回オイスカ「集まれ！地球体験村」を実施いたしました。4年ぶりとなる合宿スタイルで実施。小中学生14名と高校生7名(一般参加1名、早良高校生6名)の計21名が参加されました。

1日目は13時より当センターにて開村式を行い、その後脇山公民館に移動し脇山校区自治協議会会長 重松様より主基斎田についてご説明いただきました。そして脊振山の不法投棄の現場見学へ行きました。7月の大雨により一部の山道が通行止めのため、今回は那珂川方面から回って行きました。途中、五箇山ダムを見学して現場へ向かいました。また重松会長に不法投棄の状況についてもご説明いただきましたが、監視カメラを設置したおかげでゴミが減っているとのことでした。公民館に戻ってからは近くの公園でネイチャーゲームを実施する予定でしたがあいにくの雨のため、センターホールにて実施しました。「コウモリとガ」という、コウモリ役とガ役に分かれて行う、いわゆる目隠し鬼ごっこ(コウモリ役が鬼)を行いました。参加者の子どもたちは楽しそうに遊んでくれていました。夜には研修生との交流会を実施。研修生から各々の母国について紹介しました。全員、熱心に各国の話を聞いていました。その後、天文教室を行いました。雲に覆われ月も見ることができませんでした。

2日目は国旗掲揚を行い、朝食づくり。飯盒を使った炊飯とみそ汁、ゆで卵を作りました。自分たちで作ったご飯は特別美味しかったようでした。午前の活動ではまず農業体験ということでキュウリとゴーヤを収穫。センターに戻って袋詰めをしてから、ワッキー主基の里へ野菜の陳列体験を行いました。その後、近くの川へ移動し、水生生物観察を行いました。気温が高かったこともあり、とても気持ちよさそうにしていました。昼食にはそうめん流しを行いました。午後の活動では地元の老人クラブの皆さまによる郷土料理「がめの葉もちづくり」を行いました。その後、研修生による国際料理作り。今回はチベットのソウトユ、ミャンマーのウエタチェ、フィリピンのハロハロを作りました。ここまでおいしくいただいていたようでしたが料理作りづくしで満腹になったようです。夜にはキャンプファイヤーを行いました。各国のダンスや花火などでとても楽しい時間を過ごすことができました。

3日目は国旗掲揚から始まりました。最終日ということもあり、疲れがだいぶ見えていました。午前の活動ではボーイスカウトの皆様による工作教室を実施。木製スプーンづくりと事前にご用意いただいた竹とんぼでの遊び体験を行いました。きれいにスプーンを作ることができ、竹とんぼも楽しく飛ばしていました。午後には作文づくりを行い、各国のダンスを練習しました。そして16時より当センターにて閉村式を実施しました。修了証を受け取る姿は誇らしげに見えました。その後、脇山小学校へ移動し、サマーナイトフェスティバルに参加しました。雨に見舞われましたが、練習したダンスを披露することができました。

3日間を通して、多くの友達ができ、とても楽しそうに過ごしていました。是非、また収穫祭や体験村などにご参加いただいて友達と再会してもらえるといいかなと思います。研修生たちも一夏の大切な思い出ができました。(飯川)

